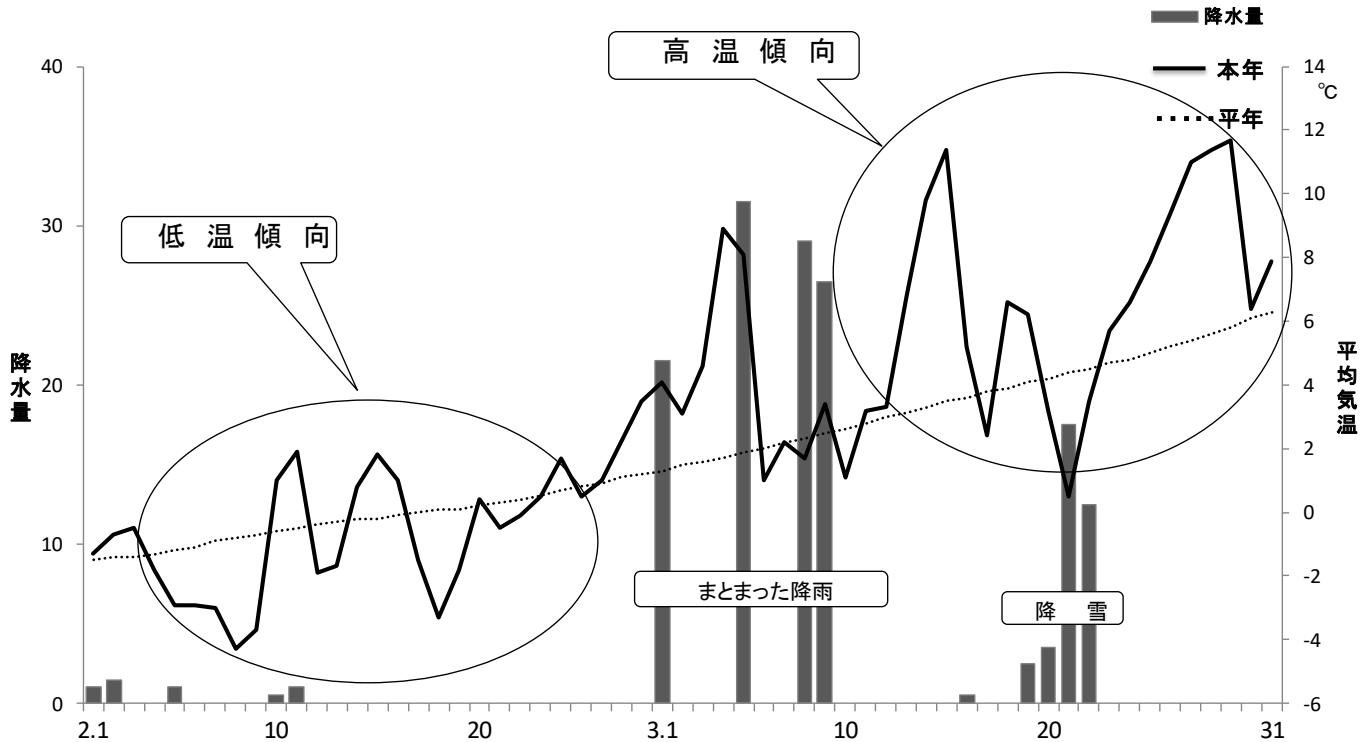


# 平成30年 作物技術普及情報 第3号

## (麦の生育状況、2回目の追肥、水稻育苗管理について)

平成30年 気象経過(穂高アメダス 3月31日現在)



### 1 気象状況

- ・ 越冬後の気温は、2月は低めに推移しましたが、3月になると平年より高温の日が多くなりました。2月は降雨が少なく乾燥傾向でしたが、3月は上旬にまとまった降雨があり下旬には降雪もありました。
- ・ 今後、天気予報には十分注意し、高温・低温対策の徹底をお願いします。

### 2 麦の生育状況と2回目(止葉展開期)の追肥について

#### (1) 麦の生育状況

3月になって降雨があり、気温も高めに推移したため、播種遅れとその後の低温により不足している生育量を補うために、早めに多めに施用した追肥の効果も現れ、茎数は増加しつつあります。また、高温傾向により生育の遅れも回復しつつあります。

湿害等の障害を受けてない場合は、以下の生育状況と推定されます。

- |          |   |            |
|----------|---|------------|
| 10月下旬～播種 | → | 生育は「やや良」   |
| 11月上旬～播種 | → | 生育は「茎数やや少」 |
| 11月中旬～播種 | → | 生育は「茎数少」   |
| 11月下旬～播種 | → | 生育は「茎数極少」  |

3月31日現在、島内品種試験圃場（11月9日播種）の幼穂長は次のとおりです。

大麦	ファイバースノウ	2 mm	(昨年 1mm)
	シュンライ	1.5 mm	(昨年 2mm)
小麦	シラネコムギ	未	(昨年 未)
	ゆめきらり	0～0.5 mm	(昨年 未)
	ゆめかおり	0.5 mm	(昨年 未)

※ 昨年は11月4日播種。

また3月31日現在、現地の生育良好な圃場の幼穂長は次のとおりです。

有明	しゅんよう	0.5 mm	(昨年 1mm)
北穂高	シラネコムギ	0～0.5 mm	(昨年 未)
	ファイバースノウ	1～1.5 mm	(昨年 2～3mm)
穂高	ファイバースノウ	1.5 mm	(昨年 2 mm)
南穂高	ゆめきらり	未	(昨年 1 mm)
豊科	ゆめきらり	0.5 mm	(昨年 未)
堀金	しゅんよう	0.5 mm	(昨年 1 mm)
三郷	ゆめきらり	1～1.5 mm	(昨年 未)
梓	ゆめきらり	1 mm	(昨年 1.5 mm)
和田	ユメセイキ	未	(昨年 未)
神林	ホワイトファイバー	2 mm	(昨年 2.5 mm)
	ユメセイキ	未	(昨年 1 mm)
笹賀	ホワイトファイバー	2 mm	(昨年 2 mm)
寿	ゆめかおり	0～1 mm	(昨年 1 mm)
中山	ゆめかおり	未	(昨年 1 mm)
山辺	ゆめかおり	3～3.5 mm	(昨年 2～3mm)
岡田	ゆめかおり	未	(昨年 2 mm)

以上から、生育ステージは

大麦 幼穂長 1～2mm (昨年同時期 1～3mm)

小麦 幼穂長 未～3.5mm (昨年同時期 未～3mm)

と推定されます。

このところの高温傾向により、生育が回復しつつありますが大麦・小麦ともに昨年よりやや遅れ、平年からもやや遅れているものと思われま

す。但し、今後の気象変動によって生育進度も左右されますのでご注意願います。

## (2) 2回目の追肥時期

○ 大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）は止葉展開期を確認して適期追肥をお願いします。

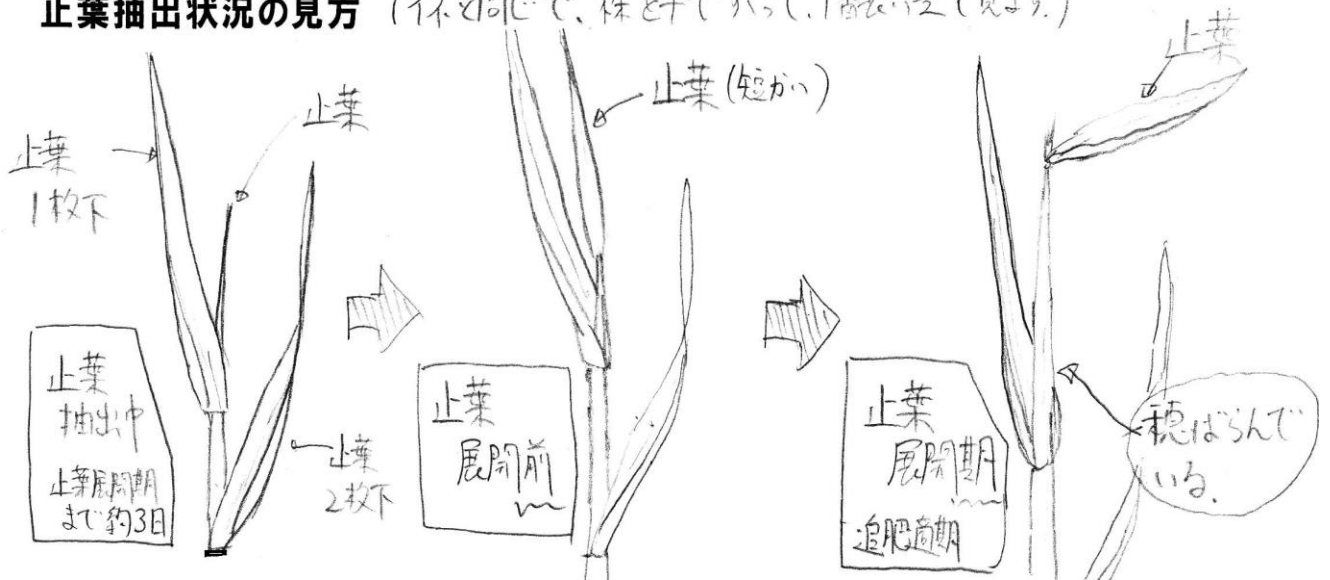
今後の気象状況にもよりますが、大麦は4月20日過ぎから、小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）は4月30日頃から、止葉展開期を迎えると思われま

○ パン用小麦（ゆめかおり）は出穂状況を確認して出穂期～穂揃い期（5月連休中～連休明け頃と思われます）に追肥をお願いします。

**【注意】**

- ★ 極端な早期追肥は倒伏を招きます。
- ★ 大麦の場合、適期を逃すと硬質麦（硝子率が増加）となり、品質ランクを落とします。
- ★ 小麦の場合、適期を逃したり無追肥だと低タンパクになり、品質ランクを落とします。必ず追肥をしてください。
- ★ 適期に散布しても、土壌が乾燥していると効きませんので、降雨が期待できない場合、灌水とセットで実施してください。
- ★ 必ず止葉の抽出状況を確認して追肥をお願いします。  
暖かい日が続くと、思ったより生育が進む場合があるので、今後の気象状況に注意してください。

**止葉抽出状況の見方**（体と同じで、株を手でずらして、一番長い茎で見ます。）



### (3) 2回目の追肥量

播種時期によって生育差があります。圃場の生育状況に合わせた追肥量でお願いします。

#### 追肥量の基準

★大麦及び小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）  
窒素成分で2kg前後/10a（硫安の場合10kg前後/10a）

★パン用小麦（ゆめかおり）  
窒素成分で4kg前後/10a（硫安の場合20kg前後/10a）

#### 【重要】・・・圃場の生育に合わせた追肥をお願いします・・・

★以下は大麦・小麦（ゆめきらり、シラネコムギ、しゅんよう、ユメセイキ）の場合

#### 生育が悪い圃場（播種遅れ、湿害、凍上害等による）

- 少なめ追肥 窒素成分で1kg/10a ⇒ 穂数少ないが登熟向上
- × 必要以上の追肥 ⇒ 大麦：硬質粒の発生、小麦：粉色・製麺性の低下

#### 生育が良い圃場

- 多め追肥 窒素成分で2kg/10a ⇒ 茎数がまずまず確保されている場合は、基準量を追肥して登熟向上
- × 追肥未実施 ⇒ 充実不足による小粒化、タンパク質量低下

## 2 水稻の育苗管理

播種最盛期を迎えますが、寒暖の差が激しいと、ムレ苗や苗立枯病等が発生します。天気予報に十分注意し、適温管理の徹底をお願いします。

特に霜注意報が出た朝は晴天になることが多く、急激にハウスやトンネル内が高温になるので、換気を早めに（日の出とともに）行うようご指導ください。

またハウスのビニールを新品にした場合は、温度が上がりやすいので特にご注意ください。

## 主な病害の病徴と原因

病 徴	病 害 名	原 因
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 出芽中、出芽後に茶色く腐敗</li> <li>・ 2葉期以降に発病→<u>引っ張ると葉が抜ける</u></li> <li>・ <u>2葉目が1葉目の葉鞘を突き破って出る</u>、その葉身の基部が白い</li> <li>・ 全面枯れ(初期)～坪枯れ症状</li> </ul>	もみ枯細菌病	催芽、出芽時の高温 緑化期の高温、過湿 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 茶色くしおれる</li> <li>・ 葉身の基部が白い</li> <li>・ 根の生育が悪い</li> <li>・ 坪枯れ症状</li> </ul>	苗立枯細菌病	催芽、出芽時の高温 緑化期の高温 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 苗が曲がっている</li> <li>・ 葉鞘から葉身に褐色の条斑</li> <li>・ 苗箱の中で均一的に出る</li> </ul>	褐条病	催芽、出芽時の高温 ほか
立ち枯れ症状	フザリウムによる 苗立枯病	育苗初期の低温 立枯防除の不徹底 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地際に白カビ、種籾の周りに淡紅色のカビ</li> </ul>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 急激にしおれて、枯死</li> <li>・ カビがない</li> <li>・ 症状が拡がっている</li> </ul>	ピシウムによる 苗立枯病	緑化期以降の低温 立枯防除の不徹底 ほか
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緑化開始時に箱全体が白いカビに覆われ、やがて灰白色となる。籾のまわりに白いカビがはびこり、苗の生育は悪く黄緑色に退色する。</li> <li>・ 急激にしおれて、枯死</li> <li>・ カビがない</li> <li>・ 症状が拡がらない</li> </ul>	リゾープスによる 苗立枯病	緑化始期の高温多湿
	ムレ苗	特に 1.5 葉期以降の低温 (生理障害で抵抗力の低下)
他にも育苗中の病害はあるが、よく見られるものは上記のもの。		